

穴内出張所管内より



あたたかい ハウスの中がお気に入り

ナナちゃん(13)
飼い主：萩野 裕和さん

ミニチュアダックスフンドのナナちゃん。小さい頃から寒い冬が大の苦手！ かわいい服を着ていても、屋外ではぶるぶると震えています。あたたかいハウスの中が大好きで、裕和さんがナスを収穫しているあいだ、ずっと横について回ります。糸つりの時は、糸を引っ張るからハウスに入れてもらえません(泣)
ちょっぴり臆病で、怖いときは尻尾を振りながらワンワンと吠えます。早くポカポカの春が来ないかな〜♪

おナス大好き！ モリモリ食べるよ♪

久保元翔くん(1)

父・秀和さんのハウスで、ナスを片手にご機嫌の元翔くん。もう歩くのだってへっちゃら！ナスもモリモリ食べています。

秀和さんは学生時代、高校野球で甲子園までいった名ピッチャー。その頃、住んでいる室戸市元から‘元(げん)’という愛称で仲間から呼ばれていました。その愛称から息子を‘元翔(げんと)’と名付けました。

たくましく優しい子に育ててほしいと、母・明美さん。家族で大切に育てているナスのハウスを継いでくれたらうれしい！と一緒に栽培できる日を楽しみにしています。

室戸支所管内より



安芸
地区

から こんには 今月の〇〇 気になる人

田野支所管内より



だるま夕日を撮り続けて40年

公文 正昭さん(77)

正昭さんとカメラの付き合いは40年。田野町写友の仲間らと写真教室に参加し、撮影や現像などの技術を取得しました。20年前には自宅の納屋を改装し、自身の通称「まんちゃん」と名付けたギャラリーを開き、地域の憩の場として今も愛され続けています。

ずっと撮り続けているテーマは、だるま朝日やだるま夕日、地域の子もたち。県展にも毎年出展し、今までに特選1回、褒状5回を受賞しました。

正昭さんの影響で写真を始めた長女・美和さんは、東京で料理写真家として活躍しています。父娘合同の展覧会も3度開催しました。父の趣味が、娘の未来を導くなんて素敵ですね。

中山事務所管内より



中山の自然薯を守る 後継者を育てたい

上岡 和久さん(60)

中山自然薯部会の部長を務める和久さん。しっかりと粘りがある自然薯は中山の自慢です。父・糺さんは中山地区の自然薯栽培に初期から携わり、地域を盛り上げてきました。

和久さんは長年クボタで農業機械の営業をしていましたが、7年前病気になり退社。1年間のリハビリ期間を経て、5年前に就農しました。

自然薯は4月に種芋を植え付け、11月下旬～12月中旬頃に収穫。波板を使った独特の栽培方法は、中山地区が発祥と言われてます。現在部会の部員数は14人。「中山の自然薯を守るため、後継者を育てたい」と和久さんは意気込みます。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



こけら寿司を求めめる人で賑わう東洋支部ブース

1 地区本部

自慢のグルメずらり 女性部マルシェ賑わう

女性部は1月19日、あき支所前広場で女性部マルシェを開き、家族連れなど地域住民らで賑わいました。JAや女性部を地域の人に身近に感じてもらうと、今年で2回目の開催となります。

会場では、室戸支部の金目汁や吉良川支部のイモ天、安田支部のナスのパウンドケーキ、中山支部の山芋汁など、11支部が出店し、自慢のグルメや新鮮野菜を販売しました。フレッシュミズや青壮年部、果樹部、JAも出店し、会場を盛り上げました。

中でも東洋支部のこけら寿司は販売前から行列がででき、用意した84パックは6分で完売しました。

高知市内からの来場者は「県東部地域のグルメや野菜が揃い、たくさん購入した。フレッシュミズブースでハーバリウムも作って楽しかった」とマルシェを満喫していました。

マルシェを企画した企画組合員課の島田千恵さんは「マルシェを通して、地元食と農を知ってもらいたい。来年は安芸地区以外の人にも来てもらえるよう宣伝していく」と話しました。



選手が勢いよく一斉にスタート

2 芸西支所

交流の場として21年目 青壮年部芸西支部駅伝大会

青壮年部芸西支部は1月10日、芸西支所管内で駅伝大会を開き、青壮年部の他、OB、JA、芸西村役場の6チームから80人が参加しました。

芸西集出荷場を勢いよくスタートした選手は、沿道の声援を受けながら管内4地区7.7kmのコースを力走。総合タイムを競うタイムレースと、予想タイムとの誤差を競うピタリレースを同時に行いました。

選手は20〜70代で、今年もOBチームには全7区間を8人以上で走る特別ルールを設けました。走り終えた選手らは「久しぶりに走ってきつかったが、気持ち良かった」と話し、交流を深めていました。

タイムレースは西分チームが31分30秒で優勝。ピタリレースはOBチームが、なんと誤差0秒で優勝しました。

同支部事務局の営農経済課池田司さんは「新年恒例の行事も今年で21回目となる。地域の交流の場として、これからも続けていきたい」と今年の開催を喜んでいました。

3 あき支所

農福連携研究会メンバー作業体験



作業人から業務内容を聞く研究会メンバー

安芸地区と安芸市、県、福祉機関でつくる農福連携研究会は1月11日、安芸ユズ加工場でポンカンの出荷作業を見学・体験し、障害者の人たちが作業できるか検討しました。

メンバーらは作業人から業務内容を聞きながら「荷造り作業は流れを掴みやすい」「選別作業は経験があるから難しい」など意見を交わしました。

昨年にはナスの出荷作業も体験し、一人でも多くの障害者が安心して働ける環境づくりに力を入れていきます。

4 地区本部

花卉生産者らがアレンジ学ぶ



山口さん(左)に教わりながらアレンジを楽しむ部員

花卉部は12月27日、吉良川支所でフラワーアレンジメント講習会を開き、部員22人が参加しました。

講師に高知市のアートプランツ「ジュジュミツコ」のオーナー山口京子さんを招き、吉良川千両や松、梅や菊などを使い、高さのある華やかなアレンジを制作しました。土台には、ハランを数枚使ったプロ向けのアレンジも教わりました。

部員は「毎年、様々なアレンジを学べる講習会が楽しみ」と今回の出来にも満足気でした。

5 地区本部

部員を講師にこんにやく作り



有澤部長(左)からこんにやく作りを教わる部員

女性部は1月12日、女性大学ときめき学園を開き、部員ら23人が参加しました。今期最後の講座は、東川支部の有澤節子部長を講師にこんにやく作りなどに挑戦しました。部員らは、安芸市産こんにやく芋をミキサーにかけて、灰汁と混ぜ、手で丸めてこんにやく玉を作りました。

広報誌を見て一般参加した親子は「ものづくりや料理など、毎回親子で楽しめた。また参加したい」と話しました。

来年度の女性大学は4月募集開始予定です。

6 あき支所

管内の小・中学校給食へユズ提供



「カブのユズ香りづけ」を作る給食センター調理員

安芸地区は安芸市立学校給食センターと連携し、同市内7カ所の小、中学校に管内産のユズやナスなどを学校給食用に提供しています。特産販売課は昨年、ユズ玉計3kgを同センターに提供。「カブのユズ香りづけ」などにユズ皮や果汁が使われました。ユズ果汁は日常的に、酢の物などに使われています。

同センター栄養教諭の川添光紗さんは「子どもたちに地元の新鮮な食べ物をおいしく食べてほしい」と毎日の給食作りに励みます。

えいのう〜



腐敗果・ボケ果対策

ナス

この時期になると、腐敗果・ボケ果が多くなってきます。品質を落とさないようにするために、基本的な管理を心掛けてみましょう。

腐敗果対策

腐敗果対策として、次の3点が挙げられます。

- ① 日焼け果は腐敗果の原因となりますので、灌水不足に気を付けましょう。
- 十分な灌水と換気をして、土壌水分不足や急激な高湿度変化を防ぎましょう。
- ② 収穫したナスはすぐに涼しい場所へ移動させ、1番上のコンテナは新聞紙等で覆いましょう。

- ③ 疫病・褐色腐敗病の防除を薬剤散布で定期的に行いましょう。ナスに登録がある農薬は、ランマンフロアブル・ホライズンDF、レバソフロアブルなどがあります。

ボケ果対策

ボケ果は果実の水分不足によるものです。土壌の水分不足・日中の高温乾燥・単花処理時期の遅れ等によって発生し、成り疲れ・根の老化等で助長されます。



安芸営農経済センター 営農指導課 芸東ブロック 池知 雅貴

ボケ果対策として、次の3点が挙げられます。

- ① 着果過多にならないように、摘花(果)・芽摘芯を心掛けましょう。単果処理をする場合、遅れないように気を付けましょう。
- ② この時期の灌水は2日に1度程度が目安ですが、晴天続きであれば毎日しましょう。

- 灌水は少量多灌水で、温湿度管理にも十分注意しましょう。
- 特に曇雨天後の晴天時には発生しやすいので、早朝からの灌水を心掛けましょう。
- ③ 果実温度が上がらない早朝から収穫をして、収穫後は直射日光・荒風にあてないように注意しましょう。



「なすび記念日」を知っていますか?

振興センター便り

安芸地域のナスについて

高知県の冬春ナスは、作付け面積、出荷量ともに全国1位です。その中でも安芸市を中心とした芸西村から東洋町までの安芸支所管内で県内の約9割が生産されています。

「なすび記念日」っていつ?

ナスの消費拡大のために、冬春ナスの主産県6県で組織する「冬春ナス主産県協議会」が「美味しいナスをもっと食べてもらおう!!」と2004年に「なすび記念日」と定めて、各県で販売促進や食育活動を行っています。

「なすび記念日」は4月17日で、その由来は、4月17日がヨ・イ・ナスと語呂が良いこととナスが好物だった徳川家康の命日だったことにあります。

また、安芸支所管内では、毎月17日を「なすの消費拡大の日」に制定し、その日は小学校の給食でもナスの料理を提供しています。

秋茄子は嫁に食わずな! ということわざはご存じですか?

「秋茄子は嫁に食わずな」ということわざの由来は3説あります。

- ① 美味しい秋ナスを憎らしい嫁に食べさせるのもつたいない
- ② 秋ナスは体を冷やすから大事な嫁に食べさせるな
- ③ 秋ナスには種が少ないので子種ができなくなるから食べさせるな。

ナスはほとんどが水分で栄養がないと言われていましたが、ナスの鮮やかな皮には「アントシアニン」や「ナスニン」等の「ポリフェノール」が含まれています。また、近年、高血圧の抑制効果のある「コリンエステル」が多く含まれていることがわかり、健康面で期待される食材です。

安芸地区消費拡大連絡協議会

ナスに関する管内の取り組みを紹介いたします。

管内の生産者、JA、市町村、当振興センターで構成する「JA高知県安芸

整枝・剪定

カンキツ

剪定作業の忙しい時期になりました。新植や老朽化した樹の更新等により、苗木を定植する場合は、事前に十分な準備をしましょう。

定植の準備

定植後に根が伸びる部分は通気、排水のよい土壌に改良する必要があります。植え穴は直径1m、深さ30cm以上掘り、定植の2週間前までに完熟堆肥10kg、苦土石灰600g、ようりん300gを入れ、掘り上げた土とよく混ぜておきます。

植え付け

春植えは寒さが緩んだ3月中旬〜4月上旬頃に定植します。早めに苗木を購入した場合は、植えるまで仮植するなどして、根が乾かないように注意しましょう。

植え付けは根を放射状に広げ、傷みのある根は健全な部分まで切り返し、有機入り化成か緩行性肥料を混ぜながら土を埋め戻します。苗木を軽く持ち上げるようにしながら足で軽く踏みつけ、細い棒で突き込み、根と土をなじませます。中心部分の土の高さが20cm程度になるように土を盛って植え付けてください。苗木の深さは、



安芸営農経済センター 営農指導課 中芸ブロック 久保 巴哉

接木部分が地表面に出るよう浅植えとします。深植えすると、カンキツその腐病が発生しやすくなり、枯死する場合もあるので注意してください。

また、風による倒伏を防ぐため、支柱で固定し、植え付けが完了したら十分に灌水しましょう。ワラやポリマルチを被せ、乾燥と雑草の発生を防止しましょう。

苗の切り返し

1年生苗や強い枝の出ていない2年生苗は、接木部分から20〜30cm上で切り返し、強い枝の発生を促します。輪状芽(春芽と夏芽の境目)がある場合は、それより下で切り返します。輪状芽より下が15cmより短い場合は、輪状芽の上の充実した芽が2〜3芽ある位置で切り返してください。主枝または亜主枝候補として使えそうな強い枝のついている2年生苗は、それらを強めに切り返した後、枝の方向を考えて植え付けてください。

小笠原 孝子



知る人ぞ知る「なすまん」!!

安芸市のイベントには「なすまん」は欠かせないものとなっています。

JA高知県女性部安芸地区安芸支部なすっこ組(代表:清遠みか)のメンバーが、平成25年に子ども達の嫌いな野菜ナンバー1のナスをなんとか食べてもらいたいと、試行錯誤して作りました。オイスターソース味とピリ辛みそ味の2種類ありますので、まだ食べたことない方は是非食べ比べてください。

また、今年度は6次産業化セミナーに参加し、夏場に販売できる新加工品づくりに取り組んでいます。乞うご期待!!

安芸ナスを食べてもらおうプロジェクト(仮称)

平成29年から安芸市、JA、安芸商工会議所、安芸農業振興センターでは、全国でも有数の冬春ナスの大産地である安芸市をもっと地元でPRするため「安芸ナスを食べてもらおうプロジェクト(仮称)」を立ち上げ、活動をスタートさせました。プロジェクトでは、安芸市産ナスをメニュー化している飲食店を掲載した

「安芸名物なす料理お食事マップ」を作成しています。是非、ナス料理をご賞味ください。



① イベントでなすまんを販売するなすっこ組 ② 2枚:なすまん

安芸農業振興センター
088713410138

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「こうぐり」創刊おめでとうございませう。東部だけでなく、県内の様子が知れておもしろいですね！

(安田支所・61歳)

▼ありがとうございます！各地区の情報を掲載しているのが、広報誌で気になった場所などに出かけてみてくださいね。

創刊号となるいろんな苦労があったのでは？地域の特色をまんべんなく掲載したいと思っても、紙面は限られているので、でも、1月号を手にした時、みずみずしい文旦の表紙を見て、JA高知県の未来は明るいと感じました。これからも高知の農業に光をあててください。

(あき北支所・64歳)

▼掲載したいことがたくさんあるので、毎回悩みますね。ご期待に沿えるよう、高知県の農業の発展に努めてまいります！

「あきあいあい」が「こうぐり」に変わって心配していましたが、今まで以上に読み応えがあり、楽しみなパズルもあり嬉しいですね。いろいろな地区の情報も知れて、いつそう楽しみが増えました！

(羽根事務所・61歳)

▼そう言っていただき、安心しました。今後も様々な特集を予定していますので、毎月楽しみに待っていてください！

お料理のレシピ毎回参考にしています。1月号の文旦ソースはどんな爽やかな味かと思いい、早速作ってみたいと思います。

(田野支所・71歳)

▼私も文旦と豚肉の組み合わせは驚きました！想像しただけで、よだれが……

JA高知県スタートおめでとう。マスクトキヤラクターのコチットかわいい……！

(東洋支所・76歳)

▼うれしいです！これからいろんな場所へ出没する予定なので、ぜひ会いに来てくださいね！

「こうぐり」って親しみのある名前に愛着を感じます。

(奈半利支所・76歳)

▼県民のみなさんに愛され続ける名前となるよう、楽しい広報誌にしていきたい

おせち料理は食べる専門でしたが、今年初めて母と一緒に作りました。母の味を受け継げるよう、料理の腕を磨きたいです。

(あき東支所・34歳)

▼おせち料理……毎年作ろう作ろうと思いつつ、今年も母のおせちを美味しくいただきました笑

広報のつぶやき

「あきあいあい」に続き、「こうぐり」へもたくさんのお便りありがとうございます！いただいたお便りを、一枚一枚読ませていただきました。ドキドキの発刊だったので、みなさんの明るいお言葉にちよっぴり安心した竹村です。

JA高知県になってからの変化といえば、職員の制服がリニューアルしました！窓口などの女性職員は、首元にかわいいリボン付き！水色・赤色・ピンク色と3色あり、みんな好きな色を着けて、おしゃれを楽しんでいます。今度JAへ来た際は、チェックしてみてくださいね！

(竹村)

INFORMATION

お知らせ



直販所 “とさのさと” 出荷者募集!

新“とさのさと”では、高知県産に徹底的にこだわり、豊富な品揃え、産地直送の「新鮮さ」、生産履歴の管理による「安全」、生産者の顔が見える「安心」を提供する場所を目指します。

新店舗の隣には、スーパーマーケットが併設されることもあり、施設全体で、年間200万人以上の来客を見込んでおり、地域の方を含め、たくさんの方に高知県産の農産物を届けたいと考えています。

兼業農家、高齢者や女性、自給的農家、新規就農者など、多様な生産者からの出荷をお待ちしております。

安芸地区の集荷便拠点は現在、吉良川のみですが、奈半利・安芸・芸西も拠点となるよう調整中です。

とさのさと出荷に関するご質問等は、下記までお問い合わせください。

- 問い合わせ**
- (株)とさのさと
担当：沼、新田 088-884-810
 - 安芸営農経済センター営農企画課
担当：小松淳 0887-34-8325



税務相談日

3月20日(水)・4月17日(水)

会場 あき支所3階 **時間** 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課
0887-34-1515